

未来へ(東中だより)

第14号 令和3年12月10日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ
「知性・感性・耐性」を
共に高める生徒の育成



TEL:0952-52-2529 Fax:52-8184

https://www.education.saga.jp/hp/higashifuri-j/

東脊振中の世代交代 生徒会長選挙 11月29日

11月29日に立会演説会と投票が行われました。22日からの掲示版、放送、朝の選挙運動を経て、新しい生徒会長を選ぶための大切な機会となります。出張のため臨場できない校長に代わって、教頭が校長の意を受け、以下のような話をしました。

「東脊振中学校の実質的な世代交代のための選挙の日となりました。きちんとした学校生活、礼儀正しく、自慢できる学校、みんなが楽しく安心して高め合えるような学校にするために、真剣に考えてくれていました。大変うれしいことです。自分たちの社会を自分たちの力で良くしていこうという取組、それを『自治』といいます。生徒の集団も一つの社会です。一部の人間がわがままを言って良い思いするのではなく、みんなが快適にすごすための自治の第一歩が、生徒会長を選ぶこの選挙です。『自治』は、リーダーシップとメンバーシップで成り立ちます。だれにリーダーシップをとってもらおうか真剣に考えて、公正に投票することがメンバーシップの重要な要素です。一人ひとりの持つ大切な投票権を有効に活用してください。そして、今日の選挙を、みなさんが18歳になって国や県や町の選挙に参加できるその日のための、大切なしずえとしてください。」



<立候補者及び主張>

- ・2A 中山 允「千差万別」
- ・2A 陣ノ内すみれ「Best Team School」
- ・2B 中山 靖詞「山溜穿石」
- ・2B 大園 樹璃「十人十色」

どの候補者も自分が考える生徒会や学校の姿を堂々と熱く語っており、その姿には2年生の成長が顕著に表れていました。

開票の結果、中山 允君が会長に、大園樹璃さんが副会長に、規定により選ばれました。

大先輩の来訪！

11月26日(金)の午後、本校出身で現在埼玉県の所沢市に在住の吉田則良様(71才)が来校されました。

吉田様は、1964年東京オリンピックの聖火リレーランナーだったとのことで、その貴重な思い出のランニングシャツが、校長室に飾られています。

本来ならば昨年度の本校「立志式」で講話をしていただくことになっていたのですが、コロナ禍により断念されたとのことでした。

昭和39年頃の学校生活について尋ねたところ、「私は、陸上部のキャプテンをしており、朝の始業前に、三津の保養院の所まで、舗装されていないバラスの道を裸足で往復するのが日課でした。」とその頃の話がされました。

小学3年の時に父親をガンで亡くし貧しい中で、家に帰ると農作業の毎日だったとのことです。夜間大学で自動車整備士の免許をとり、横浜や東京の自動車会社で販売の仕事頑張ったという話を聞きました。温厚な話しぶりの中で、「最近では心が薄くなりましたね。」と、昨今の風潮を嘆かれる姿が、心に残りました。



<表彰>

〇七夕書き方会 地区審査

- | | | | |
|------|----|------|-----------|
| 毛筆入選 | 1年 | 中島菜奈 | 向井友梨奈 |
| | 2年 | 原 優佳 | 藤井沙羅 藤井結菜 |
| | 3年 | 川崎愛美 | 中村太飛 |
| | | 小池快士 | 古舘和武 |
| 硬筆入選 | 1年 | 吉村彩芭 | 2年 小西奏太 |
| | 3年 | 阿部奨真 | 井上陽愛 |
| 毛筆特選 | 1年 | 米倉加純 | 池田和香 |
| | 2年 | 嘉村 媛 | |
| 硬筆特選 | 2年 | 内田美穂 | 3年 長野笑和 |

〇七夕書き方会 県審査

- | | | |
|------|----|------|
| 硬筆入選 | 3年 | 長野笑和 |
|------|----|------|

